

全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

令和4年4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校としての取組についてご説明します。

なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。この調査結果に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの力をつけることに、引き続き取り組んでまいります。

地域・保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をしていただけるようお願いいたします。

1. 今年度の調査結果概要

(1) 教科学習状況調査結果

(◇良い状況と考えられる内容 ◆指導・改善が必要と考えられる内容)

【国語（知識・技能）】

- ◇話し言葉と書き言葉の違いを理解すること
- ◆漢字を文の中で正しく使うこと

【国語（思考・判断力・表現）】

- ◇表現の効果を考えること
- ◇文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章をとらえること
- ◇文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけること
- ◆登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること

【算数（知識・技能）】

- ◇二つの数の最小公倍数を求めることができること
- ◇百分率で表された割合を分数であらわすことができること
- ◇図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解していること
- ◆被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすること

【算数（思考・判断・表現）】

- ◇示された場面において、目的にあった数の処理の仕方を考察できること
- ◇伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できること
- ◇加法と乗法の混合した数の求め方を解釈し、他の場合の数の求め方と答えを記述できること
- ◆示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できること

【理科（知識・技能）】

- ◇昆虫の体のつくりを理解していること
- ◇メスシリンダーの正しい使い方を理解していること

【理科（思考・判断力・表現）】

- ◇自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して改善し、自分の考えをもつことができること
- ◆観察で得た結果を、他者の気づきの視点で分析して解釈し、自分の考えをもつことができること
- ◆実験で得た結果を、問題の視点で分析して解釈し、自分の考えをもつことができること

	国語 (知識・技能)	国語 (思考・判断・表現)	算数 (知識・技能)	算数 (思考・判断・表現)	理科 (知識・技能)	理科 (思考・判断・表現)
全国(公立)平均	70.5%	62.0%	68.2%	56.7%	62.5%	63.7%
神奈川県(公立)平均	66.8%	63.3%	69.0%	57.5%	61.8%	64.2%
矢上小学校平均	68.4%	65.2%	71.4%	61.8%	65.5%	64.7%

(2) 質問紙調査結果

(○神奈川県、全国と比べて割合が高い項目 ●神奈川県、全国と比べて割合が低い項目)

- 学校に行くのが楽しいと答えている児童の割合が高い
- 友達と協力するのは楽しいと答えている児童の割合が高い
- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと答えている児童の割合が高い
- 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあると答えている児童の割合が低い
- 今住んでいる地域の行事に参加していると答えている児童の割合が低い
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができると答えている児童の割合が低い

2. 今までの学習指導への取組

〈国語〉

- 話す・聞く活動、書く学習、読む学習において、子どもが身に付けた力を自覚し、意識して使えるように、学習の振り返り、まとめ活動を大切にしている。
- 基本的な漢字などは、繰り返し学習できるよう朝15分間を使って、継続してできるように努めている。
- 本年度の本校重点研究の教科を「国語」に設定し、思考や表現を広げる授業の展開ができるように研究を進めている。

〈算数〉

- 基礎・基本を確実に身に付けるため、1時間の見通しをもち、めあてを意識して、学習に取り組めるようにしている。
- 自分の考えを言葉や数式を用いて、説明する場を意図的に位置付けるようにしている。

3. 質問票に見る子ども達の学習意識

(○神奈川県、全国と比べて割合が高い項目 ●神奈川県、全国と比べて割合が低い項目)

〈国語〉

- 国語の勉強は好きであると答えている児童の割合が高い。
- 国語の勉強はよく分かると考えている児童の割合が高い。
- 国語の授業が大切だと思う児童の割合が低い

〈算数〉

- 算数の勉強は好きであると答えている児童の割合が高い。
- 算数の勉強はよく分かると答えている児童の割合が高い。
- 算数の授業が大切だと答えている児童の割合が高い
- 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えていると答えている児童の割合が低い
- 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えていると答えている児童の割合が低い

〈理科〉

- 理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えていると答えている児童の割合が高い
- 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていると答えている児童の割合が高い
- 理科の授業が好きであると答えている児童の割合が低い

4. 学校全体での取組

- 自分の考えをもてるようにし、グループ学習など友達同士の交流、学び合いを通して、考えを高めていける学習を推進する。また、授業の中で発表の機会を多くして、表現力・思考力を高めていく。
- ノート指導では、自分の考えや友達の考えの振り返り方を工夫し、系統的に思考力を育成できるようにする。
- 家庭と連携しながら、家庭学習、読書、就寝・起床時刻など規則正しい生活習慣が身に付くよう働きかける。